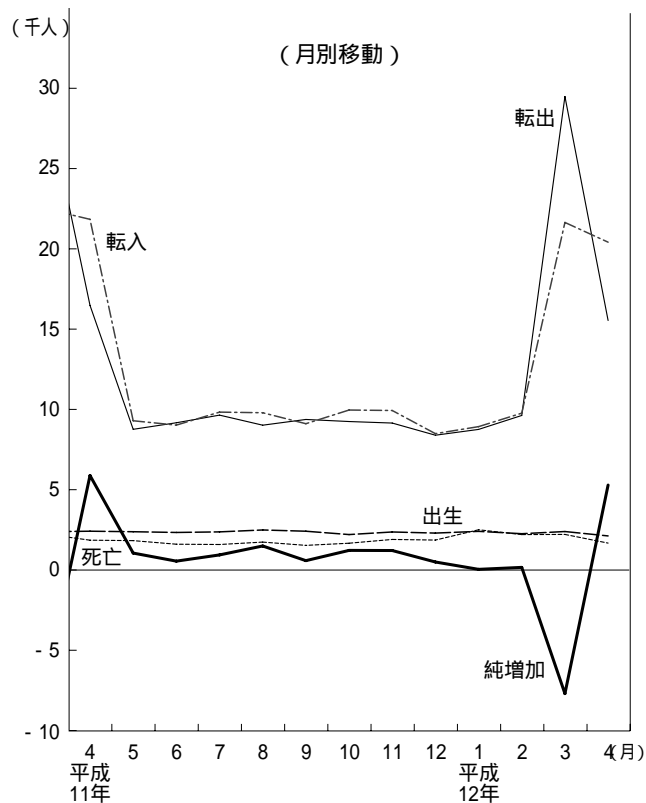


今月の主な動き

人口



人口(12年5月1日)

4月の概況

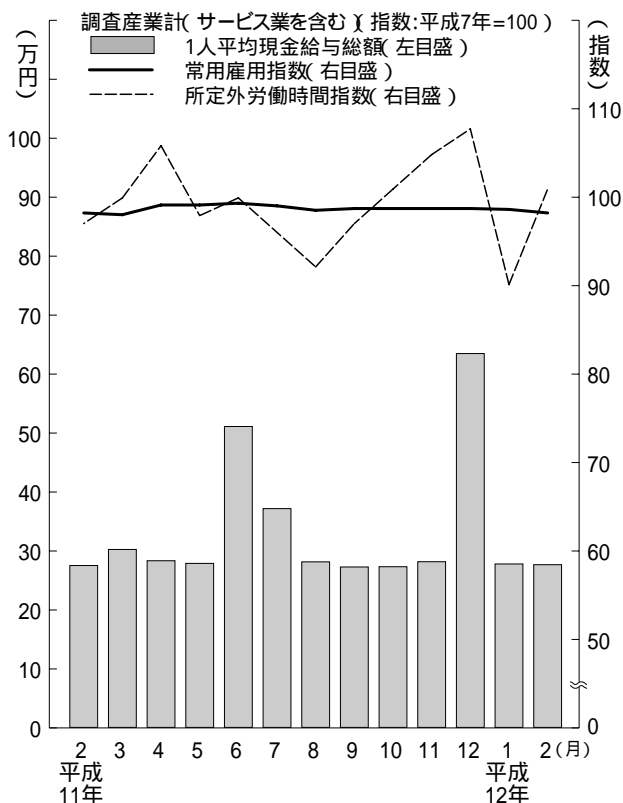
本県の人口は、4月中に5,325人増加し、5月1日現在で2,999,932人(男1,496,861人,女1,503,071人)となった。

内訳は、自然動態で、447人(出生2,156人,死亡1,709人)増加し、社会動態で、4,878人(転入20,451人,転出15,573人)増加した。前年同月と比べると5,758人(0.2%)の増加である。

市町村別では、増加が18市39町村,減少が2市24町村,増減なしが2町である。

世帯数についても4月中に6,274世帯増加し、995,401世帯となった。

賃金・労働時間・雇用



賃金・労働時間・雇用(12年2月)

1. 平均賃金の推移

2月の現金給与総額は、調査産業計で、275,982円、対前年同月比0.5%増であった。現金給与総額のうち、きまって支給する給与は272,949円、対前年同月比0.5%増であった。特別に支払われた給与は、3,033円であった。

2. 労働時間

2月の総実労働時間は、調査産業計で、156.3時間、対前年同月比0.9%増であった。総実労働時間のうち、所定内労働時間は146.0時間、対前年同月比0.7%増であった。所定外労働時間は10.3時間、対前年同月比4.0%増であった。

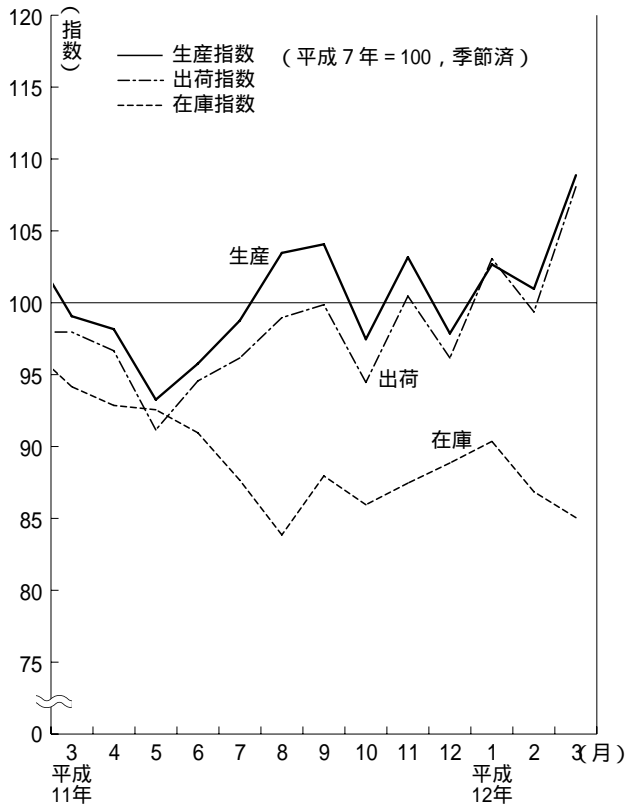
3. 雇用の動き

2月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると、前年同月と同水準であった。

この地方調査の結果は事業所規模5人以上です。

なお、事業所規模30人以上の結果についての問い合わせにも応じます。

鉱工業指数 生産・出荷・在庫

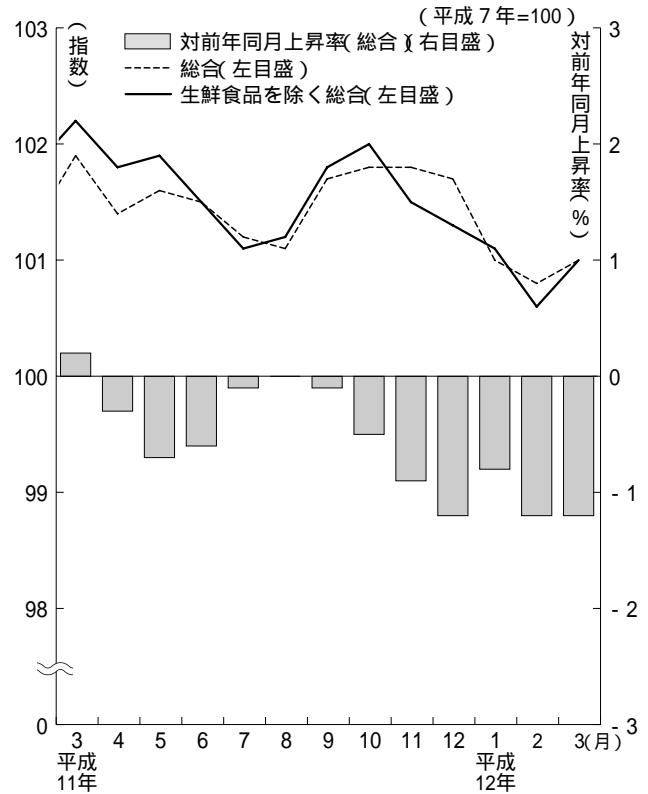


鉱工業指数 生産・出荷・在庫 (12年3月)

本県における平成12年3月の“鉱工業指数”(平成7年=100)は、季節調整済指数で生産が108.8, 出荷が108.0, 在庫が85.0であった。

- 1 生産の前月比は7.8%の上昇, 前年同月比は9.9%の上昇であった。業種別に前月比をみると, 電気機械工業, 化学工業, 輸送機械工業等が上昇し, 鉱業, 鉄鋼業, 窯業・土石製品工業等が低下した。財別にみると, 非耐久消費財, 資本財等が上昇した。
- 2 出荷の前月比は8.8%の上昇, 前年同月比は10.4%の上昇であった。業種別に前月比をみると, 一般機械工業, 電気機械工業, 繊維工業等が上昇し, 鉱業, プラスチック製品工業, 窯業・土石製品工業等が低下した。財別にみると, 資本財, 非耐久消費財等が上昇し, 耐久消費財が低下した。
- 3 在庫の前月比は 2.1%の低下, 前年同月比は 9.6%の低下であった。業種別に前月比をみると, 石油・石炭製品工業, 鉱業, 輸送機械工業等が上昇し, 一般機械工業, 鉄鋼業等が低下した。財別にみると, 非耐久消費財, その他用生産財が上昇し, 耐久消費財, 建設財等が低下した。

消費者物価指数



消費者物価指数 (12年3月)

平成12年3月の茨城県消費者物価指数(県平均)は、総合で101.0(平成7年=100)となり, 対前月比は(+)0.4%上昇し, 対前年同月比は(-)1.2%の下落となった。

今月の上がった主な項目...洋服9.7%,
生鮮野菜6.1%

今月の下がった主な項目...シャツ・セーター類 - 3.7%,
外食(-)1.8%

生鮮食品を除く総合は101.0となり, 対前月比は, (+)0.2%上昇し, 対前年同月比は(-)0.9%の下落となった。

費目別指数

(平成7年=100)

区分	指数	上昇率(%)		区分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総合	101.0	0.4	1.2	保健医療	111.2	0.3	0.7
食料	101.6	0.2	2.4	交通通信	97.6	0.2	0.1
住居	102.1	0.4	0.9	教育	108.3	0.0	0.8
光熱・水道	101.5	0.0	0.1	教養娯楽	98.3	0.0	0.9
家具・家事用品	94.5	0.2	0.8	諸雑費	102.3	0.0	0.1
被服及び履物	99.6	3.3	2.6	生鮮食品を除く総合	101.0	0.2	0.9